

日

## 夢と希望（目標）をもつこと！

さいたま市立岸中学校  
校長 星野 貞邦

新緑が目眩しい季節となり、新年度が始まって早1ヶ月が立ちました。職員室は新しい先生方を迎え、活気に満ちています。生徒たちも新しい学級や友達、先生との出会いなど、新しい環境での生活や学習などが本格的にはじまり、授業や部活動に頑張っている姿を多くの場面で見かけます。特に1年生は、新しい環境の中での緊張が続き、少し疲れぎみのようにも感じますが、部活動の本入部も始まり2・3年生とともに楽しそうに練習をしており、少しずつですが中学校生活にも慣れて来たようです。

さて、ヨーロッパにこんな話があります。森に迷い込んだ二人の男の話です。一人の男が大きな森の中で道に迷ってしまった。昔のヨーロッパでは森は悪魔の住むとても怖い場所であったが、男は自分の力に自信があったので、少しも恐怖や不安を感じることなく、出口を目指して黙々と歩いた。しかし、何日歩いても出口は見つからず、さまようばかり、男がふと周りを見回すと、そこは道に迷った最初の場所であった。男は、困り果てて座り込んでしまった。別の男も森に迷い込んでしまった。男はあわてず、じっくり考えて、空を見上げて目標の星を見つけ、その星を頼りにしながら、方向を見定めて歩き、やがて大きな森から抜けることができた。この話から皆さんはどんなことを学ぶでしょうか。

私は、生徒が中学校時代に将来の夢や希望（目標）を育ててほしいと思います。皆さんは、中学校卒業後もこれから先、何十年の未来に向けて歩いていくこととなります。「人生」という「森」を歩く上で重要なのは自分の目標をきちんと見つけることだと思います。先ほどの男の話で言えば、自分を照らしてくれる星、道しるべとなる星を見つけることです。「自分はこんな仕事をしてみたい」「こんな生き方をしたい」「こんなことができるようになりたい」という目標を立てることが重要になります。将来の自分をいつも想像し、その自分のために今何をすべきかを考えることが今の皆さんにとって一番必要なことであると思います。

3年生は、自分の進路の実現に向け勉強する時です。それはもちろん目指す高校や会社に合格するためでもあります。この先、人生の岐路に立つとき、「勉強でつけた力」と「将来への目標」が皆さんの「星」となって「進むべき道」を必ず示してくれるはずです。

1・2年生も道しるべとなる星を見つけてほしいと思います。自分の目標をしっかりと決め、進むことです。決めた目標は自分を照らす星となって毎日の生活のあり方を示してくれるはず。将来に向けての夢のような目標でも、目の前にある部活や勉強の目標でも、趣味に関する目標でも、どんな小さくてもいいから何か具体的な目標を一つ決めてください。

最後に、新年度がスタートして、各学級のこと、友達のこと、部活のこと、学習のこと、お子さんはどんな話をご家庭でしていますか。この時期、友だちと離れて少し元気がない子、妙にテンションが高くなっている子、部活や学習で少し悩んでいる子など環境が変わって少し心配な面が出てくる場合があります。このゴールデンウィークに、ご家庭で子どもの話を聴く場面を作っていただき、お子さんの話をよく聴き、頑張っていることは「褒め」、心配なことを的確なアドバイスをしてあげてください。